

特別講演

「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」 をめざして

進 龍太郎

Ryutaro Shin

岡山市企画局長

岡山市は、近畿と九州を結ぶ東西軸と日本海と太平洋をつなぐ南北軸のクロスポイントに位置し、都市的な利便性と自然の豊かさを兼ね備えた都市です。明治22年の市制施行以来、時代の変遷の中で一貫して地域の政治・経済・文化の中心地として発展を遂げ、平成8年に中核市となり、市政施行120周年を迎える本年、いよいよ全国で18番目、中四国では2番目の政令指定都市・岡山が誕生しました。

政令指定都市という新しいステージにあわせて、中長期的なまちづくりの指針となる岡山市都市ビジョン[新・岡山市総合計画]を本格的にスタートしました。

このビジョンにおいて、岡山の特性である豊かな水と深い緑をいかし、そこに住む人々が美しく心輝いていく『水と緑が魅せる心豊かな庭園都市』、また、高度な医療、先進的な福祉、伝統ある教育、交通の要衝と

プロフィール



2001年 東京大学法学部卒業
2001年 総務省自治財政局調整課
2001年 兵庫県長期ビジョン都市町振興課
2002年 兵庫県企画管理部財政課
2003年 内閣府政策統括官（総合調整担当）付
参事官（企画調査担当）付
2004年 総務省自治税務局固定資産税課
2006年 岡山市企画局統括審議監
2007年 岡山市企画局副局長
2008年 岡山市特命調整担当局長兼務
2009年 岡山市企画局長

いう強みをいかし、西日本圏域の発展とそこに住む人々の幸せに貢献する『中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市』という2つの都市像を政令指定都市・岡山のめざす姿として掲げています。

このまちづくりの指針に沿って、確固たる行財政基盤の確立に努めるとともに、市民、民間事業者と協働しながら、岡山の強みに磨きをかけ、広域圏の人々の幸せに貢献しうる存在感のある都市づくりを進めます。

また、政令指定都市が持つ権限と財源、地理的な優位性や政令指定都市ブランドを最大限に活用して人・もの・情報の交流拠点性の強化を図り、まちのにぎわいと魅力を高めます。

そして、岡山の大切な資産である豊かな水と緑に恵まれた都市環境と、美しい心を持った市民が創りあげる庭園のように美しい都市をめざします。



基調講演

循環型社会を目指して —— 廃棄物マネジメント学の役割 ——

藤原健史

岡山大学 廃棄物マネジメント研究センター 教授

Takeshi Fujiwara

岡山大学廃棄物マネジメント研究センターでは、COE（拠点大学形成）プログラムを引き継いで、廃棄物マネジメントに関する研究を行っています。

この廃棄物マネジメント学は、ごみ収集・処理・処分を通して計画、管理を行う学問です。

現在は、発生量予測、収集輸送効率化、広域化、処理システム選択、将来予測などモデルベースでの計画 & 評価に関する研究や、ごみ排出調査、分別意識調査、

分別行動分析などのごみ排出行動に関する研究に取り組んでいます。

また、廃棄物問題を抱えるアジア・太平洋地域での3R活動に貢献するために、調査研究ならびに研修活動も行っています。

講演ではこれらの取組を紹介しながら、廃棄物マネジメント学の役割について考えたいと思います。